



宮崎県 小浦製茶

『有機茶を世界へ』

【主な品目】

有機荒茶

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、E U等

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成28年に有機JAS認証を取得し、有機荒茶の生産・販売に取り組む。
- ◆ GFPグローバル産地づくり推進事業を活用し、海外食品展示会に出展するなど、さらなる輸出拡大を通して、茶産地の再生に取り組んでいる。

【輸出実績】（平成30年度より輸出開始）

	輸出量(t)	出荷時期
令和5年度	183	通年
令和4年度	165	
令和3年度	130	

【効果があった取組】

独自の栽培暦と安全基準をつくり、安定生産と他産地と差別化できる安全性を確立。



有機栽培の茶園

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 生産段階における農薬のドリフト対策。
- 2 香りのある浅蒸し茶が海外では人気であったため、国内向け主力の深蒸し茶から、海外で需要のある浅蒸し茶への対応。

【生じた課題への対応】

- 1 近隣農家との丁寧な話し合いの実施。
近隣圃場との緩衝地帯を通常より広く確保。
近隣の茶農家に対しても有機茶業への転換推進を行い、産地化に取り組んだ。
- 2 香りが残るようにするため、これまでの浅蒸し茶の蒸し時間を更に短くした。

【対応の結果】

- 1 近隣農家の理解を得て、ドリフトを防止。
近隣農家を巻き込んだ有機圃場面積の拡大。
- 2 香りが出やすくなり、海外での市場開拓に繋がった。



G7宮崎農業大臣会合メンバーの視察

【今後の課題・展望】

- 1 鮮度保持のために、宮崎に荷捌き場等の流通拠点を設置。
- 2 高齢化が進む中での労働力確保のため、機械化と共同作業の体制づくり。

【活用した支援・施策】 令和4年度、5年度 GFPグローバル産地づくり推進事業

【連絡先】 担当者名：小浦 武士、TEL：090-5294-3979



有機荒茶